



いっぱい揉まれるおっぱい作戦！！ その弐

～男がハマるのはどっち？勝負下着VSふわふわな肌～

➡ 【いっぱい揉まれるおっぱい 作戦 !! その弐】

～ 男がハマるのはどっち? 勝負下着 VS ふわふわな肌 ～

勝負下着、もしかして便利な道具になってる？

と、思ったのは、ある日、何人かのオンナ友達と話していたとき。ワタクシ以外の4人のうち2人は、「下着は重要だと思ふ派。残りは「男はそんなもの気にしないと思ふ」派だったの。重要だと思ふという2人は、現在の彼と夫をふくめ、過去のほとんどの彼が下着にこだわったそう。よく話をきいてみると…。ブラとショーツがおそろいは当たり前で、間違っちくはぐな下着をつけようものなら、そんなに気を抜くな、と怒られる始末。本人もだんだんその気になってきて、買い物に行くたびになんとなく下着売り場を気にし、お気に入りの下着ショップを見つけ、彼を気にして下着を選ぶようになっていたりして、上下おそろいの下着に凝りはじめたのだった。でも、いき過ぎてどんどん派手なデザインを選ぶようになっていったら、ドギツイと言われたり、そこまでしろとは言っていないと文句をいわれたり。ずいぶんなものねえ、と思ふけど、当の2人はあんまり困っている様子はないのよ。男は気にしないわよ、と思ふ派の2人は、よくそんな苦勞ができるものだと感心顔。半分あきれ顔でもあったかしらね。男にそんなにこびるなんて、みたいな気持ちだったのかも。

気にしない派の意見は、どうせすぐ脱がされちゃうんだから下着なんてどうでもいいし、服にひびかせないためにはベージュ色のシンプルなもの、体型をカバーしてキレイに見せるものが一番、とのこと。黒い下着は黒い服を着るときのためのものであって、男を喜ばせるものでは断じてない、のだった。そんなにかたくなに考えなくても、かわいいデザインの下着をつけたい気持ちはないの？って聞いてみたら、見えないものにおしゃれするより、見える服にお金をかけたいわよ、と。ははん、それもわかる気がするわね。

そこでワタクシ、この両派のボディにはどんな違いがあ

るか、失礼ながら観察させてもらったわよ。下着にこだわらない、男はそんなものを気にしないと思ふ派の2人は、どちらかという豊満な、カービーな体型。おしりも大きめかもしれないけど、ムネもおおきくて、華奢なブラにはおさまらないオーバーカップとみたわね。うち一人はその自覚もはっきりあるようで、たいていいつもデコルテがしっかり見えて谷間も覗かせるワンピースを着ていることが多い。しかも長めのネックレスを愛用していて、いつも目線がVの字に谷間に導かれるようになってる。やるわね。女のワタクシの目線もそこへ自然に導くんだから、男性ならなおさらね。

一方、下着は重要だと思ふ派の2人は、どちらかというスリム体型。ムネは小さいけど体全体の印象がすっきりしていておしゃれ。かわいらしくて柔らかさそう、というよりはクールでかっこいい印象ね。ここではたと思ふの。ははあ、この2人はセックスの間もブラつけてるなって。彼が下着をつけたままのセックスを好むんじゃないかって。「ねえ、セックスの間もブラしてるでしょ」

そう聞かれて2人、「…！」してることが多いけど、なにか？」

なるほど、ほかの部分には自信があるのに、ムネにはない、だから、ゴージャスなブラで隠す。彼もそうは言わないけど彼女のムネがゴージャスに見えるから下着アリセックスに文句はない。ブラの上からもみもみして、ブラの下から横から手を入れて、すてきなおっぱい感をなんとなく楽しむ。そんな感じかしら。

じゃあ、ムネに自信があるであろう、下着はどうでもいい派の2人はどうなのかしら。セックスのときのムネにコンプレックスはないのかしら。「あら、体のほかの部分に目をいかせる前に、ばっちりムネに目線をクギづけにして、でっかい尻やおっきなお腹をごまかしているのよ！」

だって。でもそのムネをキープするために何の努力もしていないなんて思ってもらっちゃ困るわよ、と語気を強める。「見える服にもお金をかけるけど、おっぱいのスキンケアにもお金をかけてるのよ」と。そうか、下着より、下着からポロンと出るぷるぷるの肌感のほうに手間をかけていたのか。「それに、ムネがちっちゃいからってケアしないと、乳首の位置だけ下がったり、しぼんだりするわよ！」と下着重要派の2人に警告まで飛び出す。

…。そうねえ、ワタクシが思うに。男性はみんなつつるのお肌が好きだし、かわいい下着が嫌いな男っていないと思うわよ。だから、できるだけバストケアをして、さらに下着にも服にもこだわれば、最強のオンナになれるんじゃないかしら？ 下着が好きじゃあって男性の心もつかむことができるしね。つまり、下着重要派はバストケア不足の傾向があり、下着はどうでもいい派もツメが甘いってことね。と、こう彼女たちの観察は楽しいんだよね、帰って自分の下着の引き出しをじっと観察し、その乱雑さ、そのかわいくなさを痛感、ぐっと鏡の前で自分のおっぱいもちあげてみたりして、反省反省、そんな日でしたわ。

